

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2, 6-ジクロロトルエンのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性毒性試験

試験番号 No. 2006-生55

試験法ガイドライン

本試験は厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」(薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環保企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日、平成 18 年 11 月 20 日一部最終改正)に準拠して実施した。

- 1)被験物質 : 2, 6-ジクロロトルエン
- 2)暴露方式 : 半止水式 (24 時間毎に試験溶液の全量を交換)
- 3)供試生物 : ヒメダカ(*Oryzias latipes*)
- 4)暴露期間 : 96 時間
- 5)試験濃度 (設定値) : 対照区, 1.0, 1.8, 3.2, 5.6, 10 mg/L
公比 ; 1.8
- 6)試験溶液量 : 5 L/容器
- 7)連数 : 1 容器/試験区
- 8)供試生物数 : 10 尾/試験区
- 9)試験温度 : 24±1 °C
- 10)照明 : 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11)給餌 : 無給餌
- 12)通気 : なし
- 13) pH : 試験溶液の pH調整は行わない
- 14)分析法 : HPLC 法

結 果

1) 試験溶液中の被験物質濃度

被験物質濃度の変動は揮散による減少と考えられたため、時間加重平均値(暴露開始時と 24 時間換水前、および 72 時間換水後と暴露終了時の、それぞれの対数平均値を算出し、それらの算術平均値)を求め、各影響濃度を算出した。

2) 50 %死亡濃度

24 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): >5.5 mg/L

48 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 3.9 mg/L(95 %信頼限界: 3.3 ~ 6.7 mg/L), Logit

72 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 2.9 mg/L(95 %信頼限界: 2.3 ~ 3.7 mg/L), Logit

96 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 2.3 mg/L(95 %信頼限界: 2.0 ~ 3.8 mg/L), Logit